

(様式1)

## 令和元年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
県民公園太閤山ランド 都市計画課

2 施設所在地  
射水市黒河

3 施設設置年度  
昭和58 年度

4 設置目的  
県民に休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的なレクリエーションの場を提供する。

5 施設概要  
敷地面積：95.9ha  
主な施設  
・プール広場：29,300㎡  
・展望塔：鉄筋コンクリート 1,150㎡、高さ92m  
・ふるさとパレス（多目的施設）：鉄筋コンクリート 6,248㎡  
・ファミリースポーツプラザ（体育館）：鉄筋コンクリート 2,563㎡  
・こどもみらい館：鉄筋コンクリート 2,610㎡  
（こどもみらい館の管理状況評価は、所管課である子ども支援課で実施）

6 指定管理者  
(公財) 富山県民福祉公園

7 指定期間  
5 年  
平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

H27	H28	H29	H30	R1
746,992	832,720	770,860	789,040	788,444

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H27	H28	H29	H30	R1
93,617	101,754	89,155	91,859	91,541

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H27	H28	H29	H30	R1
76,753	76,753	88,972	88,972	89,796

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・利用者数は対H30年度比99.9% (596人減)、有料公園施設の料金収入は対H30年度比99.6% (318千円減)となった。
- ・8月中旬まではH30年度を上回る状況であったが、お盆以降の台風や雨天の影響及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため春のオープンイベントを中止したことで大きく落ち込み、結果としてH30年度を下回った。

### (2) サービス向上に向けた取組み

- ・利用者のニーズに合わせて、弾力的に供用日・供用時間を運用した。  
→春休み及びGW期間中の無休化、GW及びあじさい祭り期間中の開園時間を延長等
- ・開園35周年アフターイベントとしてミュージック花火大会を実施したほか、あじさい祭りではアジサイ園のライトアップ範囲を拡張し、更なる夜間の賑わいを図った。
- ・GW期間中の10連休には親子ドローン体験会など日替わりイベントを開催し、賑わいを創出した。
- ・猛暑によるプールの水温上昇がみられたことから、令和元年度初めて、おもちゃ入り氷の展示や流水プールに氷を流すイベントを実施し、好評を得た。
- ・利用度が高い「いきいき広場」と「水辺の広場」の芝生広場について、仕様書に定める約2倍の回数の芝刈りを実施し芝生の密度を高める施工管理を行うことで、誰もが憩える空間づくりに努めた。
- ・ホームページでの施設案内及びイベント情報の提供を行うとともに、フェイスブックやLINE@によりリアルタイムの情報発信を行った。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・電子チケット購入サイトであるPassMe!及びasoview!を活用したプール入場チケットの販売やプールでのアクアチューブ・ミスト発生装置の運用、プール期間中のVR視聴コーナーの設置等により、利用促進に努めた。
- ・平成29年度に導入した有料公園施設の電子予約システムを、スマートフォン対応にリニューアルした。
- ・テレビ局、新聞社、雑誌社等、多くのマスコミに公園のイベント情報を発信し来園を呼びかけた。

#### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

##### ①アンケート結果

実施方法	①GW、②夏休み、③プールシーズンパス利用者、④駐車場シーズンパス利用者、⑤LINE@お友達登録者
回答者数	①89人、②95人、③124人、④205人、⑤541人
結果	①散策や憩いの場としての利用：「満足」「やや満足」92.1% 子どもの遊び場としての安心感、安全性：「満足」「やや満足」91.0% ②散策や憩いの場としての利用：「満足」「やや満足」78.9% 子どもの遊び場としての安心感、安全性：「満足」「やや満足」75.8% ③プールシーズンパスの認知方法：昨年度も購入29.0%、プールちらし22.6% 来年度の購入を希望するか：購入したい84%、購入したくない16% ④駐車場シーズンパスの認知方法：昨年度も購入50.7%、太閤山ランド内の案内板30.7% 来年度の購入を希望するか：購入したい95%、購入したくない5% ⑤LINE@登録した満足度 5段階評価中4
結果を踏まえた改善事項	・熱中症対策として、プール広場入場口に日よけテントを設置した。 ・健康づくりをテーマとして、新たに設定したウォーキングコースを活用したイベントを実施した。

##### ②その他利用者の声を反映させる取組み

- ・ボランティア、地元住民、競技団体、利用団体等から意見聴取
- ・意見箱の設置（4か所）

##### ③主な苦情と対応

- ・プール売店の商品でアレルギー症状が出た⇒問い合わせがあった場合のみ回答していたが、店頭にアレルギー表示を掲示することにした。

#### (5) 個人情報保護の取組み

- ・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

#### (6) 関係団体との連携

- ・パークボランティアをはじめとしたボランティアグループが、指定管理者のイベントに参加し、密接に連携している。
- ・あじさい祭りを、地元地域等12団体との実行委員会を組織して開催した。
- ・左義長まつりを、自治会と連携して開催した。
- ・サイクリング協会、富山国際大学の協力を得て、補助輪なし自転車教室を実施した。

#### (7) 施設・設備の維持管理

- ・不具合や劣化等について保守・点検を実施し、必要に応じて修繕を行うなど、適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・都市公園緊急事態対応マニュアルを作成し、緊急時の対応方法や連絡体制を定めるなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

有/無 回数(有の場合)

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

—

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・本公園の料金収入は、夏期のプールひろばと駐車場の利用が大部分を占めている。しかしながら、プール広場の利用者数は、夏期の天候に大きく左右されることから、料金収入の安定化を図るため、平日の利用者数の増加につながる新たな施策やプール開催期間以外の魅力的なイベントの企画・誘致など、さらなる魅力向上と利用促進に向けた対応が必要である。

・利用促進に向けて、平成30年3月から公園施設の電子予約システムを導入しているほか、SNSによる情報発信も進めており、引き続き利用者ニーズの把握に努め、更なる利用者の増加に繋げてもらいたい。

・本公園は、平成30年度に開設35周年を迎え、公園施設の急速な老朽化の進展が見込まれることから、平成25年にライフサイクルコストの縮減及び修繕・更新費用の平準化を進めることを目的として長寿命化計画を策定し、整備を進めてきている。引き続き、公園施設の機能保全と安全対策を図るため、日常の維持管理に努めてもらいたい。